

チューリップ切花における品質向上及び 日持ち性向上・草姿改善技術マニュアル

令和2年3月

さいたまの花普及促進協議会

はじめに

チューリップ切花は古くから消費者に広く親しまれた花であるが、1本に1花で観賞期間が短いというマイナスイメージを消費者が持つようになり新たな洋花の需要増加に押され単価や消費需要が低迷している。また、近年の温暖化の影響で品質が安定しないことから、品質向上技術により経営の安定化を図る。

今回は、主力品種の一部で球根の冷蔵不足と思われる「葉もぐり」などの短茎による品質低下が見られているため、購入球根の再冷蔵処理や定植後の温度管理による品質向上に取り組んだ。

また、昨年度の実証結果をもとに新品种による前処理剤の効果を実証するとともに処理濃度を改善し、日持ち性向上対策のコスト低減について検証した。

実証1 チューリップ球根の再冷蔵処理や被覆資材等を活用して定植後の適正な温度管理による品質向上

(1) チューリップの球根再冷蔵処理効果の実証

実証作型：土耕栽培

処理品種：赤品種：イルデフランス（対照）、レッドパワー、球根サイズ11～12cm

黄品種：ライオンズグローリー 球根サイズ13cm

処理方法：購入した球根を5℃の冷蔵庫内で一定期間保管した。

品質評価：到花日数、収穫時の生育調査、草姿のバランス、日持ち性（前処理剤利用）

結果

- ・再冷蔵により、慣行に比較し到花日数は短くなった。
- ・脚長が長くなる傾向が確認され、短茎よる品質低下（葉もぐり）を抑制できると考えられるが、再冷蔵期間については、検討する必要がある。（写真1、写真2）



写真1 収穫時（品種：ライオンズグローリー）
左から慣行、再冷蔵2週間



写真2 日持ち調査開始4日後（品種：レッドパワー）
左から慣行、再冷蔵2週間、再冷蔵3週間
※各区花筒の中で、草丈が伸びているものは前処理剤未使用

表1 収穫時調査結果

品種:レッドパワー	葉丈(cm)	草丈(cm)	脚長(cm)	重量(g)	植付日	収穫日	到花日数
慣行(48週冷蔵)	43.8	43.0	10.8	46.4	12月7日	2月6日	61日
再冷蔵2週間(50週冷蔵)	45.6	44.4	12.7	40.2	12月17日	2月6日	51日
再冷蔵3週間(51週冷蔵)	48.1	46.8	15.2	42.0	1月6日	2月20日	45日

(2) 定植後の適正な温度管理による草姿改善効果の実証

脚長が伸長するように、定植後保温シートで被覆し効果を確認する。

実証作型：土耕栽培（無加温）

処理方法：被覆なし、慣行（寒冷紗）、べた掛け資材2種（A、B）

処理期間：令和元年12月～令和2年1月

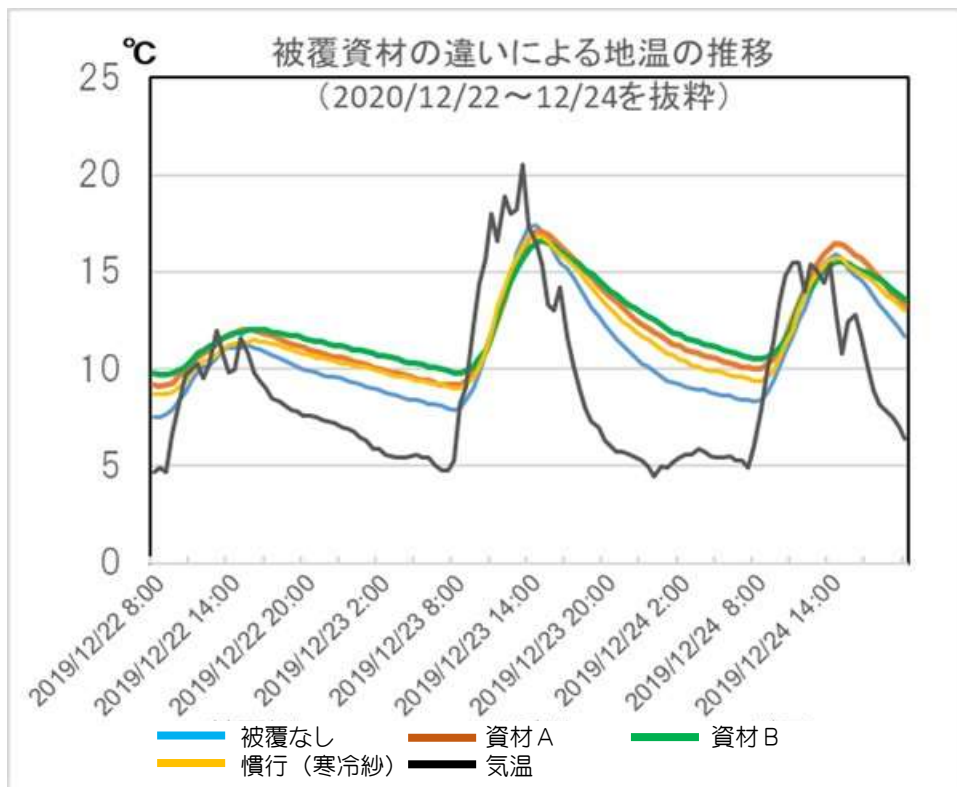


写真3

被覆資材の設置状況

左手前：資材A
左奥：被覆なし
右手前：寒冷紗
右奥：資材B



写真4

被覆資材の違いによる
草姿の変化

左：遮光率の高い資材
右：遮光率の低い資材

結果

- ・地温が高く維持できたのは、資材B > 資材A > 寒冷紗 の順であった。
- ・草丈伸長には光線透過率も影響しており、透過率の高い資材では草丈が伸び過ぎず、開花が早められた。
- ・当初、湿度が高くなると発生しやすいボトリチス等の病害が心配されたが、発生は見られなかった。

実証2 チューリップ新品種における日持ち性効果の実証

実証作型：コンテナ栽培、水耕栽培、土耕栽培

処理薬剤：クリザールB V Bエクストラ、（クリザールブースター1000倍添加）

処理品種：コンテナ栽培：ベロナ、オスカー、ピンクツイスト

水耕栽培：ブラックビューティー

土耕栽培：ライオンズグローリー

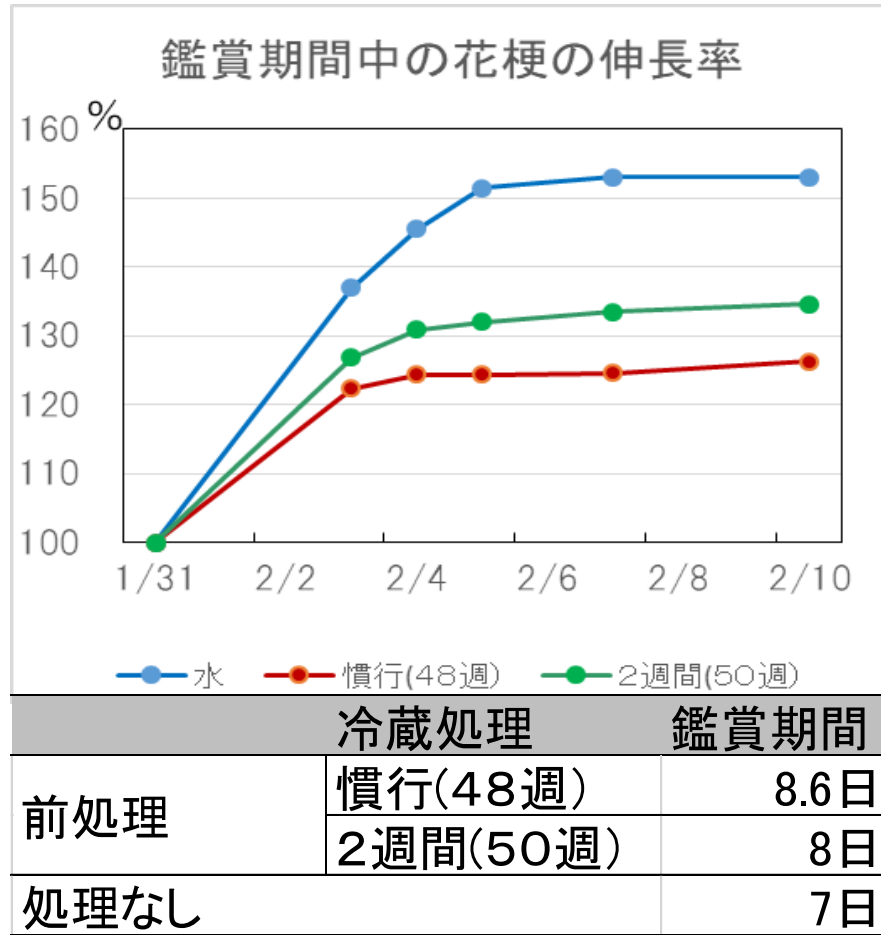


写真5 実証開始7日目（2月7日）

品種：ライオンズグローリー

左：無処理 中央・右：前処理あり

* 中央は慣行栽培、右は再冷蔵2週間

結果 無処理に比較し、茎の伸長抑制効果が確認できた。慣行栽培の方が伸長率は低かった。花の鑑賞期間は、前処理剤の利用により1～1.6日延長された（図2）。

(参考) 市場・買参人からのアンケートによる品質評価

調査場所 大田花き

- ・前処理剤は利用した商品の方が良いという回答が多かった。
- ・前処理剤のことを知らない人もいた。処理剤の効果や産地・生産者の取組を周知する必要がある。
- ・切前については、日持ちを考慮し蕾は固いほうが良いと回答した（切り前2）。
- ・鮮やかな色合いのほうが良いと回答した人が多かった。



実施機関 さいたまの花普及促進協議会

協力機関等 埼玉県大里農林振興センター

本マニュアルは農林水産省「次世代国産花き産業確立推進事業」で実施した実証事業により作成しました。

発行者 さいたまの花普及促進協議会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9埼玉県農林会館

TEL：048-711-7166